

作成日：2024年 6月 20日

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

IgA 腎症および抗ネフリン抗体に関する探索的検討
1. 研究の対象および研究対象期間 2008年1月1日から2023年12月31日までに昭和大学病院腎臓内科で腎生検を行いIgA腎症と診断された患者さん
2. 研究目的・方法 IgA腎症は難病であり、病気の原因が不明な部分が多く、病態の解明や治療法の開発が求められています。昭和大学病院腎臓内科で腎生検検査を行った患者さんで、検査の際に研究参加の同意を取得させていただいた方が対象です。腎生検検査の際に採取した血液、尿および腎臓組織を利用して研究を行います。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 試料：血液、尿、腎臓組織 情報：身長・体重・性別・年齢・バイタルデータ・病歴・血液検査データ(抗ネフリン抗体価測定、WBC、Plt、Hb、Ht、BUN、総蛋白、Alb、Cre、eGFR、Na、K、Cl、CRP、IgA、IgG、C3、C4、CH50、その他必要に応じて血算、生化学、免疫学的検査)・尿検査データ(尿潜血、蛋白尿、Cre、Na、K)
5. 外部への試料・情報の提供 本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学病院の外部から切り離されたコンピューター内およびUSBメモリにパスワードを設定して保存されます。データの保存媒体であるUSBメモリにもパスワードを設定し、セキュリティの高いレターパックプラス(赤)を用いて、共同研究機関である、東京女子医科大学病院に郵送します。

6 . 研究組織

研究代表・責任者 研究機関名 医学部内科学講座腎臓内科学部門 氏名 鈴木 泰平
共同研究機関 機関名 東京女子医科大学病院 腎臓小児科 氏名 白井 陽子
機関名 東京女子医科大学病院 腎臓小児科 氏名 三浦 健一郎

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部内科学講座腎臓内科学部門

氏名：鈴木 泰平

住所： 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8533